

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

中学校助教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、生徒の実態に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する発問、指示、板書等が適切で、授業が円滑に展開されている。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導形態を工夫して、生徒の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、他の教諭と連携しながら指導の改善や生徒の学習意欲の向上に努めている。
II 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導、進路指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の一員としての自覚を養い、望ましい生活習慣を育成している。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、他の教諭と連携しながら生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒一人一人の特性を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。